



在京古高同窓会会報
第63号

〒352-0031
新座市西堀2-17-37
在京古高同窓会事務局
FAX (042) 494-1598
URL: http://在京古高同窓会.com
Email: skyoji@jcom.home.ne.jp

発行責任: 大友 文博
編集長: 亀井 明
印刷: (株) ケーヨー

ようこそ

「令和」という時代へ

会長 鹿野 軍勝



皆様、「令和」という時代を迎えて
如何お過ごしでしょうか。日和も良
く、新緑が目に見える季節となりま
したので、皆様も散歩などしてお
られるのではと想像しております。わ
れらが母校・古川高校においても、
卒業生を送り出し、新入生を迎え入
れて、今や築高戦を控えての応援練
習に精を出している頃かと想像して
います。

はじめに皆様にお礼を申し上げた
いと思います。同窓会の活動は皆様
から頂く年会費と賛助金で賄われて
いますが、年会費の方は減少傾向に
あります。幸い、というより有難い
ことに、賛助金の方は多くの皆様に
ご協力いただき着実に増えておりま
す。お蔭で赤字にならずに済んでお
りますが、今後ともなにとぞ宜しく
お願い申し上げます。

今年の総会懇親会は6月30日(日)
に開催しますが、多くの皆様にご参加
頂ければと思っています。総会時の講
演は本部同窓会の会長でもある伊藤

貞嘉先生にお願いしております。先
生は、アメリカでの研究生活も長く、
米国の学会から著名な賞を贈られる
等優れた業績を挙げてこられた方
です。先生はまた、人との出会いを大
切にされ、若い人の教育にも熱心な
方でありました。きっと心温まるお話
を伺えるものと確信しております。

10月には文字通りふるさとを訪ね
る探訪ツアーを計画しております。
世界農業遺産に認定された大崎耕土
にこの身を置き、鳴子峡の紅葉をこ
の目で愛で、ふるさとに住まう友人・
知人に加えて酒を酌み交わすのは如
何でしょうか。ご参加をお待ちして
おります。

さて、「令和」という新しい時代
はどういう時代になるのでしょうか。
か。「令和」は英訳すると「Beautiful
Harmony」になるそうですが、「令嬢」
は美しいだけでなく気品を備えてい
るもの、「令息」も品位・人格を備え
ているもの、と言われていますが如
何でしょうか。

高度成長という路線を一直線に進
んで、バブル崩壊に達した昭和の後
半と、オウム真理教という異常・
狂気な集団を生み出し、2度の大震
災と多くの自然災害に見舞われた平
成を生きてきた人間としては、穏や
かな日々が続いてくれたらと思わず
にはいられません。これはもちろん
願望ではありますが。

願望をさらに続けます。最近日本
経済の指標があまり芳しくないよう
で、景気は下降局面に入っているの
ではと言われております。その背景

一在京同窓会メモ一

- ・会計年度は4月-翌3月、
年会費は2,000円です。
振り込み用紙が同封
された方は会費納入を
お願いします。
- ・会の健全運営のため、
賛助金のご協力をお
願います。
- ・次回会報第64号は
2020年1月1日発行
予定、原稿は常時受付。

として、米中の貿易紛争が挙げられ
ています。その影響は、日本のみ
ならず、当事国は勿論、アジア・欧州
にも及んでいると言われております。
願わくは、どこかで折り合いをつけ
てくれればと願っております。また夏
には参議院選挙があります。分断
の米国、四分五裂の英国のように
ならず、うるわしい平和を保ち続け
る国であってほしいと願っております
ことです。

い響きがあります。当時帰省する際
には、上野公園まで自転車であ
り、それから上野発の列車に乗って帰
つたという思い出もあります。
さて、在京古高同窓会のみならず
には、日頃より本校の教育活動の充
実のために様々なご支援をいただき、
感謝申し上げます。

ご挨拶

古川高等学校長 澁谷 貴彦



在京古高同窓会のみならず、は
じめまして。この4月に古川高校にま
いりました澁谷貴彦(しぶやたかひ
こ)と申します。どうぞ、よろしく
お願いいたします。

3月末までは石巻工業高校に勤務
しておりました。私にとっては、古
川高校が2校目の校長職ということ
になります。

出身はお隣の福島県(郡山市)で
すが、大学時代は東京で過ごしまし
たので、在京という言葉には懐かし

まずは、学校の近況を少しご報告
いたします。昨年度の進路状況とし
ては、東北大5名をはじめとする国
公立大学74名の合格者を出すなど、
例年とほぼ変わらぬ実績となりました。
東京方面の大学としては、早稲
田大2名、中央大4名、青山学院大
3名などの合格者を出しております。
また、この4月には240名の
新入生を迎えることができました。
2005年に男女共学化となつてか
ら14年が経過します。

現在の在校生は1学年6学級ずつ
で、全学年合わせて713名、その
内訳は男子が381名(53.4%)、
女子が332名(46.6%)です。現
在の生徒会長は開校以来初の女子の
会長となっておりますが、着任以来校
内の様子を見ておりますと、やはり
女子の方がより元気な感があります。
少子化の影響は大きいわけですが、
本校に限らず、最近の宮城県の高校
生は内向きな、地元志向の強い生徒
が多いように感じております。

その一方で、これからの社会で活
躍する古高生を育てるには、より広
い物の見方、考え方ができるように
なるための多くの機会を提供しなけ
ればならないと考えております。

そのためにも、在京同窓会の方
のご支援が不可欠と考えております。
今後とも様々な形での協力を賜り
ますよう、よろしくお願いたします

一お知らせ一

2019年度 在京古高同窓会定時総会・懇親会

- 【日 時】 2019年6月30日(日)
11:30~総会 13:00~15:00 懇親会
- 【会 場】 上野精養軒(右図参照)
電話 (03-3821-2181)
JR上野駅公園口から徒歩5分
- 【会 費】 8,000円
- 【講 演】 伊藤 貞嘉氏
演 題: 「一期一会」



【伊藤貞嘉氏プロフィール】

- 昭和47年 古川高等学校卒業
- 昭和54年 東北大学医学部卒業
- 昭和57年 米国シガン州ヘンリーフォード病院内科
- 平成9年 東北大学医学部第二内科教授
- 平成24年 東北大学理事(研究担当)
- 平成31年 東北大学名誉教授

激動の中で多くの素晴らしい人間と出会い、
支えてもらい、多くのことを成し遂げること
ができ、一期一会の大切さと感謝の気持ちに
ついて述べる。



本部同窓会事務局日より 第63号に 寄せて

古川高校同窓会
会長 伊藤 貞嘉



在京古高校同窓会の皆様には
ご健勝にて、益々ご活躍のこと
と存じます。元号も令和と変わ
りました。良い時代になること
を願ってやみません。

平成の30年間は激動の時代
でした。バブルにわき、その
崩壊による長い不景気のトンネ
ル、湾岸戦争・イラク戦争、民
族の争いと対立の深まり、経済
と利益至上主義、自然災害等々
どちらかというと暗いことが多
かったような感じがします。私
も65歳になり、東北大学を退職
し、現在は白石市にある刈田綜
合病院で勤務をしています。私
の職業人生の大半は平成ととも
にあって、明治以来の大学改革
等の大きな問題に対応してきま
した。

古川高等学校は昨年度、春の
甲子園の21世紀杯の候補になり
ましたが、旧古川市内四高関東

同窓会の前日に、選考されない
ことが判明しました。残念です
が、ここまで頑張ったことは大
きな称賛に値します。実力で甲子
園を目指してほしいと思います。
学業も伸びていますが、さらに
飛躍できると期待し、同窓会と
しても応援していきましょう。

同窓会もいろいろの形で在校
生を支援する仕組みを構築して
います。サポーター制を作り、有
志により古高を支援する基金を
作ることにしましては、昨年の総会
でご承認いただきましたので確
実に実行してまいります。また、
同窓会独自のホームページ等も
つくり、情報発信を活発化して
いくべき準備を進めております。
在京古同窓会の皆様のご支援とご
協力をお願いいたします。

同窓会は絆です。母校古高に
愛情をもって、発展を応援して
いきましょう。6月30日に皆様
にお会いすることを楽しみにし
ております。在京古高同窓会の
益々の発展を祈念しております。
(昭47年卒)

近況報告

事務局長 遠藤 直樹



今年の古川は桜の開花が例年

より2週間ほど遅れ、肌寒い日
が続く平成最後のスタートとな
りましたが、古高在京同窓会の
皆様にはますますご清栄のこと
とお喜び申し上げます。

平成30年度は古高にとって大き
な飛躍の1年だったと思います。
その一つが出場は叶いませんで
したが、硬式野球部のセンバツ
高校野球の21世紀杯候補校になっ
たことです。県秋季大会準優勝
や57年ぶりに出場した東北大会
ベスト4の活躍で、新聞やテレ
ビなどマスコミに取り上げられ
ることも多く、世間からの注目
を浴びました。

また毎日新聞では、「ぐるっと
東北・母校をたずねる」の企画では、
2ヶ月の間古川高校の特集が組ま
れ、各界で活躍されているOB・
OGが紹介されました。

さて今年の定期戦は築館高校
を会場に15競技で行われました。
前評判では古高不利の声も聞こ
えてきましたが結果的には11勝
4敗で古川高校の圧勝で幕を閉
じました。

厳しい応援練習を耐えた1年
生は、練習の成果を存分に発揮
し、声を枯らすまで一生懸命に
応援している姿が印象的でした。

また最後の報告会では、生徒会
執行部や応援団幹部が1年生を
ねぎらう言葉をかけ、その言葉
を聞いた1年生が感極まって複
数名泣いているなどの光景が見
られ、古高生が一つにまとまる
ことができた定期戦になりました。
この勝利が県総体に向けた

勢いになってほしいと願ってお
ります。

3月に卒業した71回生の進路
状況ですが、国公立大学に74名合
格し、その中で東北大学に5名
合格者を出すことができました。

古高としての目標にはまだま
だ達していませんが、難関大学
にチャレンジする生徒が、ここ
数年減少傾向の中、高い目標を
設定し、挑戦をあきらめない生
徒が結果を残し、今後につな
がる部分も見えました。さらなる
飛躍を目指し、教育活動の充実
に努めて行く所存です。

古高同窓会の活動としては、今
年度から生徒の活躍を後押しす
る体制を強化するために、昨年
同窓会総会でお認めいただいた
「古高サポーター制度」を導入予
定です。

生徒への給付型の奨学金や部
活動の支援など充実した高校生
活を送るための一助につながる
趣旨で設立するものです。具体
的な内容につきましては、今年
度の同窓会会報とともにご案内
予定ですので、なにとぞ趣旨を
ご理解の上、ご協力いただけ
ば幸いです。

加えて古高同窓会HPも作成
しました。在校生、同窓会活動
の情報や懐かしい古高の画像や
動画を公開しておりますので是非
ご覧ください。

最後に本年度の本部同窓会総
会は8月11日(日)に大崎市古川
の「グランド平成」で開催いたし
ます。今年の記念講演の講師は、

本校19回生で元仙台市博物館長
佐藤憲一様です。『伊達政宗の
国作り』と題し、長年の研究の
成果をご講演いただきます。

令和元年となります今年度の総
会が昨年以上の参加者となり、
盛会になりますようお願いの同
級生、同窓生をお誘い合わせの
上ご参加くださいますようお願い
申し上げます。

最後に、古高同窓会活動は在
京同窓会を始め、多くの同窓生
のお力添え、ご協力が不可欠で
ありますので、同窓会会費納入
に加え、多くのご支援をいただ
けますようお願い申し上げます。
(昭61年卒)



定期戦大勝利！

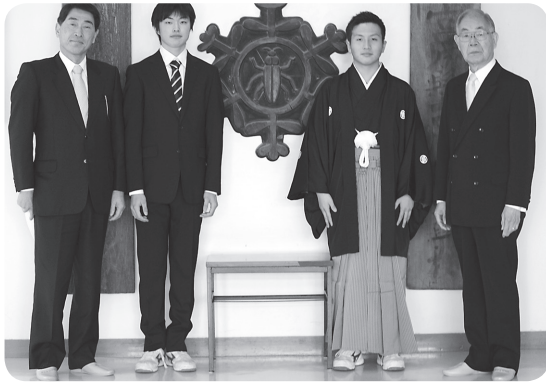
東京 螢雪賞

去る3月1日に行われた古高第71回卒業式では、237名の卒業生が巣立ちました。なお、今年も卒業式前日に、新卒業生に対して同窓会への入会勧誘を本部及び在京同窓会より行いました。

卒業式には鹿野会長と大友副会長が出席し、生徒会・クラブ活動等生活全般に渡り功績のあった2名、生徒会長の早坂峻輔君（サッカー部）と応援団長の今野壮琉君（野球部）に東京螢雪賞を授与しました。■写真

またこのほかに皆勤賞55名、螢雪賞8名（3年）、仙台螢雪賞2名が表彰されております。本校は明治30年（1897）創設以来、これまでの卒業生は旧制中学4、126名、高校22、284名、計26、410名となります。

卒業式には多数のご父兄が出席なされ体育館がいっぱいです。卒業生の女生徒はほぼ全員着物、男子も着物姿がみられ、豊かな世代



左より大友副会長、早坂君、今野君、鹿野会長

の印象です。また卒業生名簿を見て難しい名前が多く、フリガナを付けないと読めない名前や男女の区別も難しい名前が大変多いです。少子化でご両親の期待を一身に背負っており、すごい名前になっているという印象です。また、「仰げば尊し」が歌われなくなつて久しいのですが、歌詞は先生に対する感謝の気持ちやこれから巣立つという決意を表わすものであり、個人的には残念な気持ちがあります。（昭42年卒 大友 文博）

感謝の言葉

生徒会長 早坂 峻輔

この度は、東京螢雪賞という素晴らしい賞を頂戴し、とても光栄に思います。本当にありがとうございます。本当にありがとうございます。

私は1年生から生徒会執行部に所属しておりました。一年間で様々なことを経験し、2年生の夏に自らのリーダーシップの向上と地域貢献を学ぶために、3週間アメリカへ研修に行つて参りました。そこでこの学びを活かすため、生徒会長に立候補致しました。生徒会長就任後は、古高と地域の繋がりをより深めるため、執行部員の協力を得ながら、3年生の夏にまちなか文化祭という新たなイベントを開催しました。

これは、生徒会執行部としての活動ではありません。ですが、古高を含めた近隣の高校生が地域と交流するきっかけをつくることのできたと思っております。私は高校入学以前から教師になりたいと思っておりました。

古川高校で素晴らしい先生方に囲まれて生活したことで、この想いはより強くなりました。大学では、地域を利用した教育方法や海外で実践されている教育方法について学び、今後の日本を担う人材を育成できる教師を目指していきます。

感謝

応援団長 今野 壮琉

この度は古川高校の卒業式にご出席頂き、また東京螢雪賞を贈呈して頂き誠にありがとうございます。

私たちは3年間という長く苦しい、しかし短く、楽しく感じて成り立つ、大学、専門学校、就職などそれぞれが自らの道を進むことになりました。将来の不安を抱える未熟者の我々ですが、これからもお力添えをいただけること幸いです。私はこの3年間で様々な人たちと交流してきました。その交流を通じて、世の中について、人間関係について学ぶ場面が多々ありました。その中で、仲間や友人の大切さを深く心に刻みました。もしも一度度場があるのであれば感謝申し上げたいと思います。私たち古川高校71回生は2万を超える先輩方の背を見て、追い抜くべく、多種多様な知識を身につけ、これから社会に加わり、社会を変革すると私は信じております。最後に申し上げますが、これまで支障して下さった家族、先生方に感謝を申し上げます。これほど本當にありがとうございます。

平成30年度進路状況

国立大 66名（新卒54名+既卒12名）

大学	学部	男女	過卒	計
帯広畜産	畜産		1	1
弘前	保健/作業療		1	1
岩手	人文社会	3		3
	理工	8		8
東北	農	1	2	1
	文	1		1
	理	1		1
	工	1		1
	医	1		1

大学	学部	男女	過卒	計
東北	法	1		1
	教育	4	7	2
宮城	教育文化	1		1
	理工	1		1
山形	人文社会	3		2
	地域教育	1		1
	理	3		1
	工	1		1
農	医	1		1
	農	1		1

大学	学部	男女	過卒	計
福島	人文社会	3	2	5
茨城	人文社会	1		1
筑波	生命環境	1		1
埼玉	工	1		1
信州	工	1		1
静岡	教育	1		1
	理	1		1
鹿屋	工	1		1
	体育	1		1
合計		38	16	12

公立大 23名（新卒20名+既卒3名）

大学	学部	男女	過卒	計
青森県立保健	健康科学	1		1
岩手県立	社会福祉	2		2
宮城	看護	1		1
	事業構想	2	1	3
秋田県立	看護	2		2
	生物資源	1		1
会津	コン理工	1		1
福島県立医	看護	1		1

大学	学部	男女	過卒	計
茨城県立医療	保健医療	1		1
群馬県立女子	文	1		1
高崎経	地域政策	1		1
	経済	2		1
埼玉県立	保健医療	1		1
都留文科	文	1		1
長野	環境ツー	1		1
合計		7	13	3

私立大 395名（新卒334名+既卒61名）

酪農学園	農食環境	5		5
八戸工	工	1		1
岩手医	看護	1		1
盛岡	文	2		2
	経営	1		1
石巻専修	人間	1		1
	理工	5	1	7
仙台	体育	1		1
	文	1	7	9
東北学院	法	16	8	26
	経済	9	2	13
	経営	3	2	5
	教養	6	9	15
	工	2	3	8
東北工	工	15	3	18
	ライフデ	3		3
東北福祉	総合マネ	6		7
	総合福祉	6	12	18
	教育	2	5	7
	健康科学	2	6	8
東北医薬	薬	1	3	5
	学芸	26		26
宮城学院女子	現代ビジ	5		5
	教育	5		5

宮城学院女子	生活科学	5		5
仙台白百合女	人間	11		11
東北化学学園	科学技術	1		1
	医療福祉	1	3	4
尚絅学院	心理教育	1	6	7
	人文社会	5	1	6
	健康栄養	1	6	7
	デザイン	1		1
東北芸術工	薬	1		1
	医療保健	1	2	4
つくば国際	流通経済	1		1
	社会	1		1
国際医療福祉	薬	1		1
	保健医療	1	3	5
	成田保健	2		2
白鷲	教育	1		1
高崎健康福祉	農	1		1
城西	現代政策	1		1
	理	1		1
文教	情報	1		1
	メディア	1		1
神戸外語	外国語	1	1	2
城西国際	国際人文	1		1
聖徳	音楽	1		1
千葉工	情報科学	1		1

千葉工	工	3		3
東京情報	総合情報	2		2
秀明	学校教師	1		1
千葉科学	危機管理	2		2
青山学院	文	1		1
	コミュニ	1		1
北里	理工	1		1
	海洋生命	1		1
国立音	音楽	1		1
駒澤	文	1		1
芝浦工	法	1		1
	工	1		1
成蹊	経営	2		2
専修	経営	4		4
大正	心理社会	1		1
大東文化	文	1		1
中央	外国語	1		1
	法	2		2
帝京	経済	1		1
	法	2		2
東海	経済	1		1
	理工	1		1

東海	海洋	1		1
東京電機	生物	1		1
	システム	1		1
東京農	国際食料	1		1
	農	4		4
東京理	応用生物	1		1
	生命科学	1		1
東京理	理二	1		1
	工	1		1
東邦	理工	1		1
	薬	1		1
東洋	理	1		1
	法	2		2
日本	生命科学	1		1
	法	4		4
新潟医療福祉	経済	1		1
	国際関係	1		1
京都産業	工	3		3
	生物資源	1		1
同志社	芸術	1		1
	社会福祉	1		1
龍谷	社会福祉	1		1
	獣医	1		1
大阪工	文	1		1
	法	2		2

法政	経済			1
明治	経営			1
	文	1		1
明星	理	1		1
	農			1
早稲田	情報			1
	社会科学	1		1
国際ファッ	教育	1		1
	国際ファ	1		1
神奈川工科	理	2		3
	情報	2		2
関東学院	工	2		2
	法	1		1
新潟医療福祉	国際社会	1		1
	薬	1		1
新潟食料農業	医療技術	1		2
	食料産業	2		2
京都産業	国際関係	2		2
	生命医科	1		1
龍谷	経済			1
	農			2
大阪工	知的財産	3		3
	法			2
合計		179	155	61

第26回 旧古川市内四校新年の集い

四校新年会を 振り返って

昭56年卒 菅原 祐二

恒例の第26回「新年の集い」は1月26日(土)午前11時より上野精養軒で開催されました。今年の幹事校・古川工業高校のものと約220名参加の楽しい宴となりました。

開会宣言の後、加藤昭夫様(古工関東同窓会会長)よりご挨拶を頂きスタートしました。古高(金校長)・古工・古川黎明・古川学園学校長ご挨拶を頂きましたが、各氏の話題には古高の甲子園選抜出場に関する内容が多く、注目度はとても大きいものでした。

今年の古高野球部は、昨年の秋季大会では東北高校に4対3で競り勝ち準優勝し、東北大会に出場を果たし、ベスト4という素晴らしい結果を残しました。

残念ながら、惜しくも選出とはなりませんでしたが、事前に開催された在京古高同窓会の幹事会でも、臨時打合せ開催を予定するほど期待しました。久々に母校に故郷に想いを寄せ、盛り上りました。

我が家でも、長男が元高校球児であったこともあり、古高甲子園出場の話で夕食時にもよく語り合いました。とても残念でしたが、選手たちも既に夏に向けて気持ちを切替えているとの事で夏に期待を膨らませています。甲子園出場の際には駆けつけたい気持ちは同窓生が共感するところでしょう。

四校会の公演は、発足20年を迎えた古川工業高校ダンス部の皆さんによる「ダンス・ダンス・ダンス」で男女混成メンバーによるダンスを披露頂きました。

同ダンス部は日本高校ダンス選手権に5年連続、全日本高等学校チームダンス選手権に4年連続出場の強豪チームですが、様々なスタイルのダンスを繰り広げ、会場を若い力で盛り上げてくれました。彼らの躍動する姿は何か熱いものを感じました。全国の頂点を目指しているとの事で、これからも楽しみです。

我々が高校生の時代には無かった部活のジャンルでも、活躍する若者が輩出される地元これから可能性を感じます。

私事ですが、古高時代はバスケット部に在籍し、県大会を制しインターハイ出場を果たしましたが、当時は練習のたびに先輩が駆け付けて下さりゲーム相手をして頂きました。

古高同窓会に参加させて頂くようになり、10年前にとっても強かった時代(伝説の先輩)のバスケット部の大先輩とお会いでき、後日都内で会食し、バスケット話で盛り上がった一夜を過ごせた事もありました。同窓会ではこんな出会いもあり、また参加する度に古高同窓生の皆様のご活躍されているのを見聞きしていると自分もパワーを頂いていると感じます。

古高同窓会から四校会・東京有備会(在京岩出山の会)にも参加するようになり、故郷・母校を思う多くの方と出合いの機会が増えてまいりました。

両親は他界しましたが、子供や孫に引継げる故郷にできないもの

かと考えながら、月1ペースで実家に帰っており、子供たちと話をした時に「お父さんにとっては故郷だけれど、自分たちにとっては故郷じゃないから...」と言われたことがあります。確かにそのとおりで、子供たちにとっては自分とは思いや価値観が違います。我々、地元で生まれ育ったものにとっては魅力のある故郷です。でも外部の方も行ってみたい、住んでみたいという強い魅力のある故郷にして行くことが重要とつ

づく感じます。元気ですから、まだやれる事、やりたい事をどんどんやりたいと思っておりますが、そんな話で時間を共有できる事をまた楽しみにしております。現在もジムで体づくりをし、ゴスペルで喉を鍛えて(笑い)元気づくりもやっております。この会報をお読みになって、新しく古高同窓会に出てみようという方が現れて頂ける事を期待したいと思います(幹事)



<第26回四校合同新年会 古高出席者名簿>

[四校来賓] (敬称略) 伊藤 康志 (大崎市長)	草刈 文幸 (首都圏大崎連絡協議会会長 S38 古工卒 三本木出身)
[古高来賓] (敬称略) 伊藤 貞嘉 (同窓会会長 S47卒 米山出身)	金 和宏 (校長 一関出身)
鈴木 忠司 (在仙同窓会会長 S48卒 中新田出身)	中島 源陽 (宮城県議会議員 S56卒 真山出身)
[会員56名] (カッコ内は出身地)	
昭26 角田 啓輔 (古川)	昭30 横山 武 (山)
昭26 谷地 森 (古川)	昭30 渡辺 吉郎 (山)
昭27 氏明 明朗 (岩出山)	昭31 相澤 昭男 (三本木)
昭27 佐藤 清勝 (中新田)	昭33 大友 俊裕 (富)
昭29 早坂 清吉 (三本木)	昭35 佐々木 義磨 (色)
昭30 相原 和夫 (東小野田)	昭36 鹿野 軍勝 (大崎)
昭30 浅野 和夫 (東大崎)	昭36 鹿野 隆行 (古川)
昭30 門脇 喜代志 (小野田)	昭36 鹿野 隆行 (古川)
昭30 曾根 研 (小野田)	昭36 鹿野 隆行 (古川)
昭30 高橋 廣正 (高清水)	昭36 鹿野 隆行 (古川)
	昭38 佐々木 次夫 (古川)
	昭39 石堂 達夫 (古川)
	昭39 後藤 雅正 (宮崎)
	昭39 笹原 謙一 (荒)
	昭41 石川 厚實 (古川)
	昭41 佐々木 宗秀 (古川)
	昭42 伊藤 伊藤 秀三 (小野田)
	昭42 佐藤 藤田 秀三 (小野田)
	昭44 佐藤 相澤 角田 (古川)
	昭45 佐藤 佐藤 茂庭 (古川)
	昭46 佐藤 佐藤 鈴木 (古川)
	昭47 相澤 大友 (古川)
	昭48 松本 伊藤 (古川)
	昭51 佐藤 佐藤 (古川)
	昭52 阿部 菅原 (古川)
	昭56 菅原 菅原 (古川)
	平11 菅原 菅原 (古川)
	昭47 相澤 大友 (古川)
	昭48 松本 伊藤 (古川)
	昭51 佐藤 佐藤 (古川)
	昭52 阿部 菅原 (古川)
	昭56 菅原 菅原 (古川)
	平11 菅原 菅原 (古川)

会員による自由投稿

現在大崎市は大崎耕土が世界農業遺産に認定されたことを契機に地域の活性化を進めております。世界農業遺産による地域活性化とはどのようなものかを大崎市産業経済部世界農業遺産推進監の武元将忠様に寄稿いただきました。

秋の「ふるさと探訪ツアー」ではこの中世以降の堰や隧道などの水管理について現地を訪問し見学いたします。

世界農業遺産「大崎耕土」を基軸とした地域活性化

武元 将忠

世界農業遺産という認定制度があることをご存知でしょうか。ユネスコの世界文化遺産や世界自然遺産は多くの方に知られています。世界農業遺産は、同じく国連の組織であるFAO（国連食糧農業機関）が認定しているものです。FAOは、第2次世界大戦度、農業の近代化による食料増産や途上国への食料支援等で重要な役割を果たしてきました。一方、農業の近代化が進む中で、地域の環境に根差した伝統的な農法、生物多様性、農耕儀礼、食文化、景観等が急速に失われてきた面も否めません。

このようなことを背景として、2002年、FAOにより、世界的に重要な農業のシステムを保全することを目的としてスタートしたものです。そして、2017年

12月、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の1市4町を対象エリアとした「持続可能な農業を支える大崎耕土の伝統的な水管理システム」が認定されたところからです。

大崎耕土は約1,500kmにも及ぶ広大な地域であり、江合川と鳴瀬川の流域に水田農業地帯が広がっています。

現在の一大穀倉地帯の景観をみると、以前から水田に適した地域であると言われても何ら疑問に感じないかもしれませんが、東北太平洋側特有の冷たく湿った季節風「やませ」による冷害、山間部の急勾配地帯の洪水、そして平野部の緩勾配の地帯の洪水といった三重苦に悩まされた地域でした。その厳しい自然環境下で、先人達が食料と生計を維持する様々な工夫を凝らしながら、一大穀倉地帯を築き上げてきたのであり、現在の大崎耕土の景観は、その苦労と知恵の結晶と言えます。

水との関りは、大崎耕土の歴史を語る上では不可欠であり、環境に応じた水管理の在り方が、大崎耕土が世界農業遺産認定を受ける上で重要な要素となりました。中世以降、取水堰や隧道・潜穴と呼ばれる水路トンネル、ため池、用排水路網が整備され、大崎耕土の水路延長は6km、ため池は1千以上のほりです。これらをすべて人力で作りに上げた苦労は相当なものであったと思われれます。

例えば、岩出山の内川は、約430年前に伊達政宗公が江合川に堰をつくり、水を引いた人工の水路であり、現在も3千ha以上の水田を潤しています。内川は、世

界灌溉施設遺産にも登録された重要な灌溉インフラであるとともに、岩出山から古川の緒絶川に注ぎ、それぞれの街に風情ある景観をもたらしています。

また、洪水や冬の北西風から農家を守る屋敷林「居久根（いぐね）」も大崎耕土の特徴として挙げられます。居久根は、大崎地域の風土に根付いたものであり、現在でも大崎耕土の全家屋の4割に当たる約2万4千戸が居久根を有しています。特に春先には水田の中に居久根がある家屋が点在する。水田に浮かぶ森として大崎地域独特の景観を生み出します。



水田に浮かぶ森「居久根」

また、周辺の水田や水路網とながり、多様な生物の生息環境も提供しており、持続可能な農業の実践にも一役買っていると言えます。このような生活の中で、発酵食などの食文化や独特の伝統芸能なども受け継がれてきました。

また、ラムサール条約に登録されている化女沼や蕪栗沼及び周辺水田は、国内に飛来するマガンの

約9割が飛来する地です。至近距離で数万羽のマガンの大群が見られるのは世界でも大崎地域だけであり、唯一無二の価値を有しています。なお、国内の基礎自治体の中で、唯一、大崎市のみが2つのラムサール条約湿地を有しています。

世界農業遺産に認定された地域の貴重な宝を守るためには、農業関係者だけではなく、地域住民、商業、観光、教育などの幅広い方の参画が不可欠です。このため、世界農業遺産の認定を契機に、多様な主体の参画の下、世界にここだけにしかない大崎耕土の地域資源を「守るために活かす」をテーマとした3つの柱で取組を進めています。

一つ目は、大崎耕土の様々な地域資源を美術館の展示物とみなし、地域めぐりや体験等により交流人口の拡大を目指す「フィールドミュージアム構想」です。

価値観の変化等もあり、昨今の観光スタイルは、ゆつくりと時間を過ごし、その地域ならではの体験に価値を感じる方が増えていきます。また、海外の観光客の数は大崎地域でも確実に増加しています。そのような中で、世界農業遺産に認定された地域資源は、大崎ならではのツーリズムを展開する絶好の武器になると考えています。

二つ目は、大崎耕土で生産された農産物や工芸品等の付加価値向上を図る「農産物等のブランド認証制度」の創設です。

認証制度は、まず米から開始し、2019年産米から世界農業遺産地域の認証米として販売していく

予定です。今後、対象品目を他の品目や加工品等拡大していく予定です。

三つ目は、先人の知恵と努力を次世代に伝え、誇るべき郷土の宝として継承していくための人材育成であり、まずは2020年度から1市4町の小学校3～6年生全員に（仮称）世界農業遺産副読本を配布し、学校教育の中で大崎の魅力や学ぶ機会を設け、地域の誇りを醸成していく取り組みを進めていく予定です。

世界農業遺産認定を契機とした取組

世界農業遺産「大崎耕土」を「守るために活かす」をコンセプトに3つの柱で取組みを推進

目指す方向
①多様な資源を巡るツーリズムを核とした交流人口の拡大(フィールドミュージアム構想)
②ブランディングによる価値の共有と向上を通じた持続的農業の推進(農産物等認証制度)
③人材育成の推進による農業の知恵の継承

世界農業遺産の認定を契機とした取組は幅広く、大崎地域の特色を活かした地方創生の取組そのものであると言えます。在京古高同窓会の皆様におかれても、地域の誇りの醸成と大崎地域の活性化を目指し「大崎耕土」を基軸とした今後の取組をサポートいただくと幸いです。

(大崎市産業経済部 世界農業遺産推進監)

古高開校記念演奏会

昭42年卒 大友 文博

古高の前身は明治30年(1897年)4月1日宮城県尋常中学校志田郡立分校と称し志田郡役所内に創立され、同年5月3日に開校、これを開校記念日としています。

今年の開校記念演奏会は古高出身のテノール歌手の佐藤直幸君(平19卒、松山出身)とグループの田中研さんのピアノの演奏会でした。お二人は東京藝術大学音楽学部声学科卒で、現在はアンサンブル・コノハなどで活躍しております。

お二人の軽妙なトークと佐藤君の「青葉城恋歌(佐藤宗幸)」や「あの頃へ(玉置浩二)」、「心の瞳(坂本九)」など、在校生は先輩の生のテノールを楽しんだと思います。

古高の先輩にはいろいろな世界で活躍している方たちが大勢おられます。音楽の世界も在校生にとっても刺激的であったと思うし、佐藤君のこれからの活躍を期待いたします。



「ふるさと探訪ツアー2019」のご案内

—大崎耕土の世界農業遺産と大崎氏のルーツを辿って—

今年、平成29年にFAO(国連食糧農業機関)に世界農業遺産に認定された大崎耕土の伝統的水管理システムと大崎氏の史跡を辿りながら、周辺施設と紅葉の鳴子峡を楽しみます。

・日時：2019年10月24日(木)～25日(金)(1泊2日)

・コース概略：

1日目 師山城跡・松山歴史館・天平口マン館・加護坊山
・貝堀隧道・木戸瓦窯跡・大崎八幡神社・小松寺跡
・萱刈潜穴・梅香院・小野城跡

2日目 化女沼ダム・宮沢遺跡・後藤江潜穴・鳴子峡・岩堂沢ダム
・岩出山内川・中新田城跡

・参加費：20,000円(バス代、宿泊費、懇親会費、昼食代、見学科他)
*往復のJR古川駅迄の乗車券は各自購入

懇親会参加のみ：6,000円

・申し込み先：在京古高同窓会事務局(佐々木恭次)

Tel/Fax: 042-494-1598 e-mail: skyoji@jcom.home.ne.jp

*古高同窓生以外でもご興味のある方、知り合いや友人参加も歓迎します。



古川へお越しの際は
お立ち寄りください

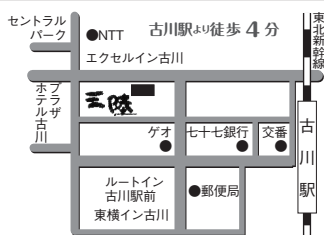
三陸本店
海鮮居酒屋

創業1972年

海鮮居酒屋 一筋!

代表取締役 井上 秀隆

昭和42年卒



宮城県大崎市古川駅前大通 2-3-6

☎0229-22-0025

🕒11:30~14:00・16:30~24:00

📅年中無休 🚗12台

🌐http://www.sanriku.net/

情報処理のエキスパート/完成図書・デジタル化総合サポート

電子納品作成支援
おまかせください!

導入から成果品まで専任スタッフがきめ細かく対応しバックアップいたします。

専任スタッフ・有資格	
CALS/EC-インストラクター	10名
電子ファイリング	6名
文書情報管理士 1級	13名
2級	10名
CAD利用技術者 2級	3名
SXF技術者	1名
ドローン操縦士回転翼 3級	1名
第二種電気工事士	2名

代表取締役会長 早坂清吉 (昭和29年卒)

株式会社 ケーヨー http://www.keyo.co.jp E-mail: info@keyo.co.jp
本社 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-1-6
☎03-3242-0191 FAX03-3242-0167

MOTOR SPORTS OIL
FORTEC

エコオイルからレーシングオイル開発に携わり、国内、海外展開をしている。

FORTEC モータースポーツオイル発売元

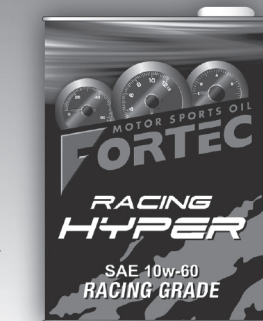
耐久レース、ラリー、ダートトライアル、ジムカーナ等のサポートドライバーが大活躍しております。

代表取締役 渋谷 誠一 (昭和42年卒)

フォルテック株式会社

〒270-1108 千葉県我孫子市布佐平和台 4-5-23

TEL 04-7189-4117 FAX 04-7189-2687



http://www.fortec-oil.com/

BIPは、企業様と共に事業開発・経営改善に取り組み、第2・第3の成長を創るパートナー

BIP Business Integration Partners
BIP株式会社

昭和42年卒

取締役会長 佐々木 昭美

東京本社 東京都中央区日本橋1丁目2-10 東洋ビル6F

TEL: 03-5542-1417 FAX: 03-5542-1418

東北事業所 宮城県仙台市青葉区中央1-2-3 仙台マークワン19F

TEL: 022-208-9322

E-mail: info@bi-p.co.jp

URL: http://www.bi-p.co.jp

平成30年度 年会費・賛助金納入状況一覧 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

同窓会活動の財源としての年会費並びに賛助金を、皆さまにご協力いただきありがとうございます。納入された方々のご芳名を記して、お礼に替えさせていただきます。

	氏 名														
昭17	笹原	猛													
昭19	青沼	康男													
昭20	後藤	雅久	高橋	昭典											
昭22	大場	孝夫	松本	慶蔵	諸岡	久男	結城	雅巳							
昭24	我孫子	静夫	門脇	健	小林	昭	齋藤	馨	三浦	澄能					
昭25	遠山	仁一													
昭26	鈴木	桂吾	鈴木	俊男	角田	啓輔	谷地	森 税							
昭27	跡部	太一	天野	仁二	氏家	明朗	大内	史彦	太田	徹	佐澤	正剛	佐藤	清勝	菅井 一 中森 高
昭28	本田	惇													
昭28	佐々木	修規	中川	裕雄	早坂	明久									
昭29	岩渕	瑞穂	大沼	悟	小川	春男	小野	賢次	金原	章郎	金村	繁	佐藤	興市	佐藤 廣 関 信良
昭29	関口	克己	高橋	清亮	高橋	滉	長浦	稠	早坂	清吉	八尋	恭平	湯本	良師	
昭30	相原	相	浅野	和夫	尾崎	光彦	門脇	喜代志	門脇	敏明	岸	孝仙	京極	恒由	小松 伍郎 佐藤 輝久
昭30	佐藤	寿哉	鈴木	貞清	諏訪	政志	瀬戸	順悦	曾根	研一	高橋	廣	塚田	容三	土田 英彦 手島 篤郎
昭30	平野	武	三塚	正志	横山	武	和田	勝義	渡辺	吉郎					
昭31	阿部	進	相澤	昭男	浅野	平男	浅野	森男	安住	栄喜男	生亀	功	大石	隆一	木村 智明 熊谷 正俊
昭31	福原	克彦	松谷	嘉男	森	茂樹	森谷	文彦							
昭32	遠藤	康光	大森	英樹	北村	武行	木戸	秀彦	佐々木	勝也	佐々木	吉弥	下屋	勝	竹谷 靖夫 沼倉 和雄
昭32	野田	利美	原	清三	門間	俊二									
昭33	大友	正行	大山	隆志	小堺	勉	菅原	富男	鈴木	節夫	鈴木	将夫	高橋	俊裕	野村 高義 早坂 英郎
昭33	藤本	幸昭	三浦	義明	森谷	拓夫	結城	睦夫	渡邊	紘也					
昭34	青沼	行雄	都築	光彦	宮野	貞司	村上	金吾							
昭35	阿部	信雄	伊藤	勝利	梅沢	和男	大沼	直紀	今野	正弘	佐々木	恭二	佐々木	武磨	佐々木 庸二 鈴木 啓次
昭35	我妻	一美													
昭36	江崎	肇	大杉	義明	大益	弘	片倉	康	鹿野	軍勝	菅野	俊次	児玉	隆行	佐々木 鍊三 佐藤 宗博
昭36	穴戸	俊一	鈴木	幹	高橋	幸裕	藤本	義明	柘澤	敬	松崎	仁也	吉田	二郎	我妻 幾久寿
昭37	相澤	利重	佐藤	八一郎	穴戸	照男	杉野	邦熙	千坂	孝夫	中鉢	泰平	本田	美喜夫	
昭38	阿部	重人	浅野	勝吾	大曾根	昇	大場	和男	菅野	英俊	木村	康之	佐々木	恭次	佐藤 勝昭 菅原 清春
昭38	二郷	文俊	遊佐	義男											
昭39	石堂	達夫	上野	正司	菊地	忠信	後藤	雍正	笹原	誠一	渋谷	栄男	菅原	静	千葉 則道 吉田 雄
昭40	浅野	仁也	庄司	昭也	手島	秀明									
昭41	石川	厚	金澤	茂	狩野	民生	菊地	務	今野	忠雄	佐々木	宗實	高橋	秀之	藤井 欣三 八木 正志
昭41	渡邊	幸之													
昭42	伊藤	倉雄	大友	文博	木村	智則	酒井	信一	佐々木	昭美	佐々木	敬悦	佐々木	文安	佐藤 勉 澁谷 誠一
昭42	三浦	和夫	森谷	里美	門田	芳司	山崎	具基							
昭43	遠藤	卓三	佐々木	博	田口	義昭	千葉	正夫	門間	勝					
昭44	相澤	次雄	岡本	悦男	鈴木	信正	角田	耕一	山中	政法					
昭45	荒川	忠一	猪股	謙二	岩瀬	昭典	岩浪	満	小畑	伸一	鬼沢	慎一	角張	信隆	佐々木 質 佐藤 実
昭45	馬場	博	藤井	茂樹	茂庭	進									
昭46	今川	和彦	遠藤	孝	笠間	邦彦	加藤	伸	鈴木	規仁	鈴木	博	森谷	隆	
昭47	相澤	肯英	相澤	司	小嶋	進	大友	芳夫	菊池	精治	佐々木	保	高橋	光	松木 秀一
昭48	伊藤	健二	石川	克城	加藤	敏朗	貝	修二	平野	徳雄					
昭49	佐々木	知廣	早坂	正	磨	秀晴									
昭50	早坂	明彦													
昭51	石上	智	佐藤	広美	菅原	博之	早坂	時男							
昭52	阿部	眞													
昭53	浅野	正則	遠藤	淳											
昭54	松村	一三													
昭55	亀井	明	齋藤	秀範	佐々木	洋朗	鈴木	健之							
昭56	佐々木	治道	佐藤	京治	菅原	祐二									
昭56	高橋	貞幸	高橋	滋	村上	真也									
昭57	赤間	英一	中川	健志											
昭59	高橋	克嘉													
平01	小嶋	浩二													
平11	菊地	宏幸													

『年会費・賛助金
ご協力のお願い』

年会費および賛助金の
ご協力ありがとうございます。
平30年度年会費納入者
は記載のとおり262名
で、そのうち賛助金協力
者は160名でした。ご
支援大変感謝いたします。
年会費は、物故者およ
び転居先不明の方々が多
く減少傾向にあり、賛助
金の占める割合が増えて
きております。
引き続き同窓会活動の
為に是非賛助金も併せて
ご支援くださいますよう
お願いいたします。
在京同窓会事務局

会員通信

〈四校新年会案内返信ハガキ通信欄から〉
 ●介護付ホームに転居。老妻の介助もあり外出もままならないが、人生航路の最短コースをゆつたりと慎しく進んでいます。
 (S24三浦澄能)

●高齢になって来たので、あまり無理出来ない様に成っておりますが、まだ少しは元氣も残っている様です。「健康第一」と考え乍ら生活しているの、目下の処心配ありません。今回の様な会合が時々ありますが、必ず出席する様心掛けています。
 (S26角田啓輔)

●平成30年3月にて税理士業を廃業しました。
 (S27天野仁二)

●八十路も半ばとなり脚・腰の痛みが増して参りましたが、日常生活には多少の不自由を感じるものの、元氣に過ごしております。
 (S27氏家明朗)

●外房大綱に住んで30年、すっかり千葉県人になってしまいました。85才全く病氣なしの元氣です。
 (S27春田紘輔)

●縄文土器に関心を寄せ、土器の製作を始めました。
 (S29湯本良師)

●楽隠居の夢未だ叶わず日米を往復しながら仕事を続けて居ります。生涯現役ということになりそうです。
 (S30浅野和夫)

●腰痛再発で遠出不可能です。母校が甲子園に出席出来ることになったらいいですね。
 (S30佐藤寿哉)

●昨年、①合唱で参加した二度の音楽会に、同期の仲間に来て貰い、②突然襲われた歩行不全も治り、テニスに誘って貰った。同期の皆さんありがとう。
 (S30高橋 廣)

●今年目標はマスターズ全国卓球大会に出場したいので、その為の体力の増強に足腰を鍛えて臨みたいですね。
 (S30横山 武)

●80才台になったら急に旅もスポーツも回数が減りました。健康保持に懸命です!!
 (S31阿部 進)

●昨年は、体調悪く手術で通院、入院が多く、また妻の他界もあり、今は没1の孤独老人にならないようにあれこれと考えています。野球部の活躍はすごいです。
 (S31福原克彦)

●愚妻認知症(要介護1)で家事一切不能なれども、共々、考え過ぎず明るく過ごしております。
 (S32下屋 勝)

●今年、初孫が結婚して12月に披露宴に招待されました。白いドレスを着た幸せいっぱいの花嫁姿を見て感動し、長生きできたことに感謝です。
 (S32門間俊二)

●一年の半分は四国に居ります(認知症の義姉が単身の為に介護を兼ねて)。
 (S33早坂貞雄)

●7年前に福音の種がまかれ着実に成長してきております。6年間で3300名を支援。この度厚労省より感謝状贈呈の荣誉に預かりました。全国の支援者(賛助会員)のご芳志の賜物と感謝しております。
 (S33早坂英郎)

●(ポランテイアラポト代表) (S33早坂英郎)

●傘寿到達・体力減退・呆け進行。徘徊距離は月間300Kmが限界・残念。近況です。
 (S33渡邊紘也)

●「越えなばと思しし峰に来てみれば、未だ行き先は山路なりけり。」来年八十才になりますが、先輩の方々に敬意を表します。恐惶謹言 (S34青沼行雄)

●数ヶ月毎定期健診等で通院しておりますが、日常生活は支障なく散歩等して静かに過ごしております。
 (S34村上金吾)

●病氣療養中ですが、日々ガン克服に向け闘っております。(後輩の活躍で元氣も戻っています。)(S35梅澤和男)

●後輩の国会議員を支援するかたわら、今まで歩いてきたアメリカ、ヨーロッパ、中国など旅行している。早大羽生稲門会副会長。現状の国内政治に危惧を感じている昨今。(S36大杉義明)

●選抜高校野球大会21世紀枠で甲子園出場と成れば最高だと思ひ、必ず自分も甲子園に行き応援したいと思ひます。
 (S36工藤 理)

●喜寿を迎え身辺整理の一環として桜ノ目にあつたお墓の墓じまいをし、千手寺さんでの永代供養とした。父母が亡くなり拾数年、古川に帰る機会は一層少なくなる。「かにかくに緒絶の流れ恋いしかり、思い出の川、思い出の山」啄木ならこう詠んだらうか。
 (S36高橋幸裕)

●よくぞ甲子園出場、よくぞ頑張ってくれました。我々の夢を叶えてくれ、感謝。古高魂で頑張れ!!
 (S37六戸照男)

●米中対立の煽を受けて、PPSの話は中断したままで、旧年は塾講師に専念しました。センター8割超を目指して奮闘中です。福島県立医大はセンター18割が目安。足切り。だけは避けたいものです。
 (S38飯塚 洋)

●月2回ステージに立ち、カンツォーネ、ラテンを計2曲歌っています。
 (S39上野正司)

●野球部の活躍に感動。ぜひ春の選抜、21世紀枠に入るようお願いしています。
 (S40武田俊夫)

●70才になりましたが、若い世代と一緒に仕事に、遊びに、遊びに楽しんでいます。私は「三喜人生」と命名しています。
 (S42佐々木昭美)

●正月明け草々幕張メッセでのモータースポーツショー準備・出展で休み無しです。
 (S42澁谷誠一)

●いつもお誘いありがとうございます。もうしばらく参加出来るうちにあります。母校選抜選ばれると嬉しいのです。
 (S43霜田 茂)

●2年前に第2の職場も卒業し、2年前に手術した右腕の屈伸障害のリハビリしながら、ぼくと過ごしています。
 (S45馬場 博)

●秋季東北大会古高野球応援に参上して来ました。百有余年の望、21世紀枠に夢を見つつ、初春の決定を祈念し、美酒に酔いたい。
 (S51菅原博之)

●今年5月に山形県に異動になり、首都圏から離れた。せつかくご案内下さつてもこれまで以上に参加は難しいと思ひます。
 (S55菅野知幸)

心よりご冥福をお祈りいたします

熊谷 虎夫氏 (昭20年卒) 平成30年10月19日
 小元 広悦氏 (昭28年卒) 平成30年1月23日
 小川 春男氏 (昭29年卒) 平成30年9月15日
 木村 哲彌氏 (昭30年卒) 平成30年11月4日
 菅原 利吉氏 (昭30年卒) 平成30年7月8日
 和田 勝義氏 (昭30年卒) 平成30年12月6日
 吉水 英彦氏 (昭35年卒) 死去日不明
 山本 晃氏 (昭39年卒) 平成30年9月2日

編集後記

元号の変更に伴い5月1日が休日となり10連休となりましたが、皆さん、長期に職場を離れており、連絡が取りにくいですね。
 連休は4〜5日程度が良いのではな
 (大友)

複雑な税務問題の相談に応じます

税理士鈴木博事務所

税理士 鈴木 博 (昭和46年卒)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-5-1 第37森ビル1階 (虎ノ門合同事務所)

TEL 03 (3433) 0481 FAX 03 (3433) 0493
 E-mail : hiro0917@toranomom-ssta.com

TECHNOLOGY of MAGNETIC PRODUCTS

EMC対策部品

- ノーマルモードラインフィルター
- コモンモードラインフィルター

チョークコイル

- スイッチング電源用プーストチョークコイル
- インバータ家電PFC用プーストチョークコイル

TMP株式会社
 代表取締役 佐藤勉 (昭和42年卒)

神奈川県大和市大和南2-1-16 大和ホワイトビル 7F
 TEL 046-260-6788 FAX 046-260-1624